

【第3 報告】

大学生の成果発表～消費者市民社会形成の取り組み～

加藤徳子

今年度より人文社会科学部に開講された「消費者問題の理論と実践」は、このフォーラムが最終回の講義である。つまり、この講義を受講している学生は、このフォーラムの参加が必須となる。しかし受講生はこのフォーラムにただ参加するだけではない。表題にもあるように、受講生は当講義で学んだことをもとに、自分たちで発表することを求められた。とても短い準備期間であったが、また、仲の良いもの同士が組んだわけでもなかっただろうが、学生は6、7人のグループ（グループA～D）で、消費者問題に関するテーマを1つ設定し、それについて詳しく背景など現状を調べ、その解決策となるものを模索し、発表した。授業から、発表にいたるまでの経緯を簡単に紹介する。

当講義の概要は下の通りである。受講生は、消費者市民社会と経済学からマーケティング、青森県の消費者行政と消費者運動等を概論的に学び、後半には、各論的に、現在の消費者問題、児童労働・環境問題と消費生活との関わりや、それに関連したワークショップや話し合い活動を授業の中で重ねてきた。

- 第1回 イン트로ダクション（福田）
- 第2回 青森県の消費者行政と消費者運動（1）（小笠原）
- 第3回 青森県の消費者行政と消費者運動（2）（小笠原）
- 第4回 消費者市民社会と経済学（1）（福田）
- 第5回 消費者市民社会と経済学（2）（福田）
- 第6回 多文化共生社会における消費行動（1）（加藤）
- 第7回 多文化共生社会における消費行動（2）（加藤）
- 第8回 消費者志向経営とマーケティング（1）（保田）
- 第9回 消費者志向経営とマーケティング（2）（保田）
- 第10回 環境・資源問題と消費行動（1）（加藤）
- 第11回 消費者教育の実践（1）～消費者フォーラム in 八戸参加～
- 第12回 環境・資源問題と消費行動（2）（加藤）
- 第13回 持続可能な社会への消費行動（1）（加藤）
- 第14回 持続可能な社会への消費行動（2）（加藤）
- 第15回 消費者教育の実践（2）～消費者フォーラム in HIROSAKI 参加・発表～

12月下旬には「消費者教育フォーラム in 八戸」にも参加した。そこでは、他大学の消費者教育の実践の報告や、古谷由紀子氏（サステナビリティ消費者会議代表）の基調講

演「若者がつなぐ消費者市民社会」を聴講した。消費者市民社会や現在の消費者問題事例などホットトピックス的な内容の話聞くことができた。

これらの経験や受講を終え、受講生は第13回講義では、6、7人で構成される4グループに分かれ、自分たちの取り組む消費者問題のテーマを決定した。発表内容について学生に求めたことがいくつかある。消費者問題のテーマと自分たちの身近な生活との関わりを示し、それが世界の今後の大きな流れとなるSDGs（持続可能な開発目標）の17分野のうち、何とかかわるのかを示し、その解決策となるアイデアや自分たちのできること、社会に提言できることなどを盛り込むようになどである。そして一週間後である次回の講義までに、グループ内で手分けして各々が調べてくることなどを話し合い、課題として持ち帰った。第14回講義では、それぞれの調べてきたことを突き合わせ、発表に向けての仕上げや発表の練習を行った。そして本番の1月27日を迎えるのである。たった9日間の準備期間しかない中で、学生たちは素晴らしい報告、発表したと思う。学生の持つ能力の高さを感じた発表であった。一方、後のアンケートでは、この発表に向けての準備時間が少なすぎるとの指摘がいくつかあった。来年度はその点を改善していきたい。